

# 因伯兎

いんぱくと

発行月：2016年12月

発行元：鳥取県民主医療機関連合会

- ・心電図ざっくり読み(研修医サークル)
- ・中部地震 震災支援
- ・実習：地域医療学実習受入
- ・第3回家庭医療学講座



研修医サークル

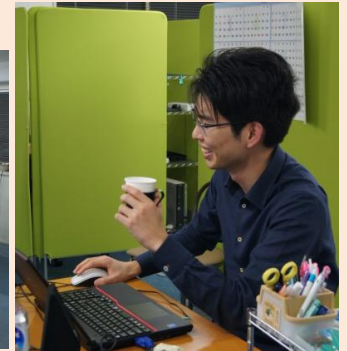
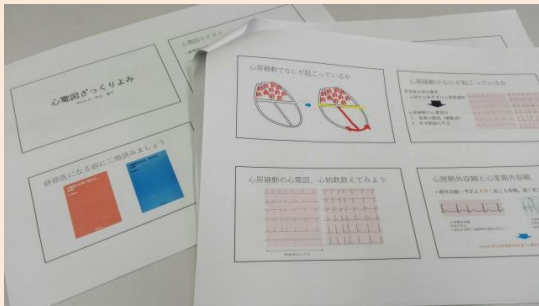
## ホワイトG



### 第1回学習会 『心電図ざっくりよみ』

講師：西出庸平医師(鳥取生協病院1年目研修医)

11月18日(金)19時から米子国際ファミリープラザにて『心電図ざっくりよみ』学習会をしました。鳥取大学医学科5年より4名参加。皆さん真剣に、そして楽しく勉強をされていました。また、学習後は懇親会も行いました。今回からスタートした研修医サークルは、研修医による医学生さんのための学習会です。医学生であればどなたでもご参加頂けます。



次回は12月22日(木)19:00～米子ファミリープラザ 507

『ぎりぎり国試に受かった人が教える国試の最低ライン』平山医師です。

\* 終了後は懇親会も予定していますので、参加可能な方はできるだけ12/19までに [igakusei@tori-ren.jp](mailto:igakusei@tori-ren.jp) までご連絡ください。

2月頃には『心電図しっかりよみ』も行う予定です。  
お楽しみに！



研修医サークル第2回

研修医サークル  
ホワイトG

### 『ぎりぎり国試に受かった人が教える 国試の最低ライン』

日時：2016年12月22日(木)

19:00～20:00頃

\* 終了後は懇親会も予定しています。

米子国際ファミリープラザ 5F 507

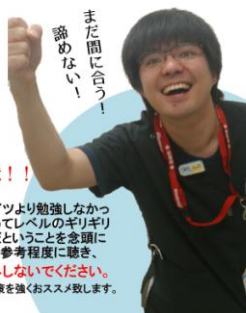
ご参加可能な方は下記までご一報ください  
(懇親会予約の為)

申込締切：12月19日(月)  
[igakusei@tori-ren.jp](mailto:igakusei@tori-ren.jp)

締切後も参加のご相談受付けています。



**注意！！**  
この話を聴く時はコイツより勉強しなかったヤツは全員落ちたってレベルのギリギリで受かったヤツの話だということを念頭に置いて反面教師として参考程度に聴き、**良い子は絶対にマネしないでください。**  
計画的かつ早めの国試対策を強くおススメ致します。



## 研修医コラム

10月末に病棟の患者さんが100歳を迎え、誕生日会が開かれました。研修医をはじめ、医師、看護師等がご家族と一緒にお祝いをしました。主治医の先生からは花束とケーキのプレゼントがあり、みんなで写真を撮り楽しい時間を過ごしました。



↑ 写真は病棟から患者さんへプレゼント！

# 震災関連死は生ませない！

## 鳥取中部地震の支援活動

今月のコラム  
震災支援



10月21日(金)鳥取県中部を震源とするM6.7最大震度6弱の地震が発生しました。重篤な人的被害が少なかったことは幸いでしたが、住宅被害は13,526棟(11月30日現在)、被害の大きかった倉吉市では4割を超える世帯に被害が及んでいます。罹災証明書の交付は進みつつありますが、被災した住宅の建て替え、修繕を支援する制度である「被災者住宅債券支援補助金」は、全壊であっても上限が300



万円、一部破損世帯(損害基準判定が20%未満)は上限30万円と保障が無いに等しく、被害を受けながら十分な住宅再建の支援を受けられない被災者が多数にのぼっています。

鳥取民医連、鳥取医療生協では、地震翌日から、避難所訪問、地域の組合員訪問などを開始。「震災関連死は生ませない!」のスローガンのもと支援活動に取り組み、11月6日までに

中部地域の組合員約3,000名の安否確認をほぼ行うことができました。全国の民医連、医療生協から約200名の支援者の派遣を受け、また協力いただいた医学生、看護学生、高校生もありました。本当にありがとうございました。



鳥取民医連・医療生協の震災支援にて、対策本部の事務局長を務められた永原さんにお話を伺いました。

この人にインタビュー

回答者

震災支援対策本部  
永原事務局長



被災地支援で一番苦労したことはなんですか？



中四国や近畿地方の民医連事業所からや鳥取民医連職員、組合員の支援者を100名規模で受け入れる体制づくり・支援準備(チーム編成、車両手配、食事提供など)は、今まで経験したことがなく、手探り状況での対応で大変でした。



被災者の方はどんな辛さを感じられておられましたか？



被災者の中には、高齢者の独居や高齢者夫婦世帯が多く、主な収入は年金に頼らざるを得ない生活で、そうした中での震災だったため、家屋の修繕にどこまで出来るのか、将来展望が見えないとの声がたくさんありました。



今後、どのような支援活動を考えておられますか？



この間の支援活動と通じて把握できた要フォローの方への支援継続、地域訪問で掴んだ意見・要望を行政に届け、支援制度の充実や改善を求める取り組みをすすめていきたいと思います。また医療生協の支部と班の活動で日常的なつながりを強め、地域で安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでいきたいです。

## 実習紹介



# 鳥取大学 地域医療体験実習を受入開催

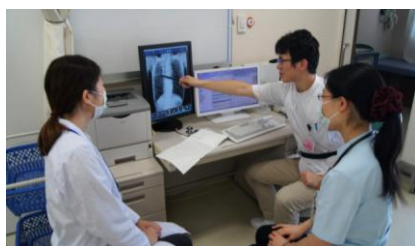
\*\*\*\*\*

鳥取大学医学科4年生の授業『地域医療体験実習』を、今年も生協病院、弓ヶ浜、おおたか診療所にて受け入れました。4日間受入を行い、生協病院には計11名、弓ヶ浜診療所・おおたか診療所には計16名とたくさんの学生さんが来られました。

今年の実習目標は「患者中心の医療」。医師を始め、多職種や組合員(患者)さんの話を通し、患者中心の医療を考えてもらいました。生協病院では医師同行や訪問看護、MSWの話などを開催。弓ヶ浜・おおたかでは往診同行、訪問看護同行、ケースカンファレンスなどを行いました。



《学生さんの感想(一部抜粋)》



「患者さんの背景にある経済的、社会的な問題にも目を向け、患者さんの立場に寄り添うことが重要だと感じました。」



「先生と患者さんとの距離が近く、患者さんも安心できるような雰囲気の中で診察をされていたところが良い、と思いました。病気だけではなく患者さん自身を診ている先生の姿勢を参考にしたいと思います。」

「今回の実習で医師、看護師、MSWなど多職種が関わっていることを改めて感じました。」

第2回は家庭医療・総合診療についての歴史のお話。家庭医の起源や、家庭医療・総合診療医学会の歴史についての解説などがありました。

9月から始まりました、医療連続講座「家庭医療学をカジる」、第3回目まで終了しました。講師は米子医療生協で家庭医を勤める梶野大医師。第2回、第3回と学生さんが計4名と、生協病院の研修医が参加しました。



医療連続講座  
「家庭医療学をカジる」

12月が最終回です！



また、海外の研究によると、家庭医・総合診療医と専門医の比率によって、かかるコストとケアの質が変動することが紹介されました。  
「家庭医療学をカジる」は、家庭医療を取り巻く問題から、社会で起きているいろいろな問題について、楽しく学んで「ざつくばらん」に話せる場所を目指しています。お気軽にお越しください！

次回(最終回): 12月10日(土)15:30~16:30 国際ファミリープラザ 507号室

《詳しくは鳥取民医連 HP をチェック!》

第三回

12月



Merry Christmas

### 第4回 医療連続講座「家庭医療学をカじる」

12月10日(土)15:30~16:30

【医学生】

米子国際ファミリープラザ 507号室

米子医療生協が行っている医療活動から、米子市ではどんな家庭医療、地域医療が求められているのか紐解きます。初めての参加でも分かりやすくお話しします。お気軽にどうぞ。

## 今後の予定



### 将来医療者を目指すあなたへ

12月11日(日)10:00~11:00 【高・予備校生】

鳥取生協病院 10F(救急外来前に担当者が立ちます)

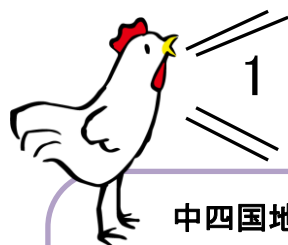
医師はどんな仕事をしているのか、医師になるにはどうすればいいのか、大学生活はどんなものか等を、生協病院の西出研修医が語ります。

### 全国医学生のつどい 3rd Quarter (滋賀)

12月17日~18日(土日)

【医学生】

全国から医学生や医師が集まり、学習や交流を行います。今年のつどいでは、命の平等について学び、今回3rd Quarterでは「障がい者の医療」をテーマに学びます。医学生であれば無料でご参加頂けます(宿泊や交通手段はこちらで手配いたします)



1月

2017



中四国地協企画 西村 真紀先生と語ろう

【医学生】

「家庭医とは? ~困難を抱える患者に寄り添って~」(高松)

1月14日(土)13:30~18:00頃 \*その後、懇親会あり



中四国の民医連病院が集まり、毎年講演企画&研修説明会を開催しています。今年はドクターGにも出演された高知大学家庭医療学講座所属の西村真紀先生をお招きし「家庭医療」について講演頂く予定です。また、民医連で研修の医師より、研修の様子をご紹介します。ご興味のある方は12/22までにご連絡ください。(宿泊や交通手段はこちらで手配いたします)

## 病院・診療所での実習を随時受け入れています。

入学前から6年生までを対象に病院実習を行っています。実習内容や日時はご相談の上、決定しますので、お気軽にご相談ください。高校生・予備校生へは医師体験をご用意しています。

奨学金制度もあります。



【発行元・お問合せ先】

鳥取県民主医療機関連合会 鳥取市末広温泉町 571

TEL: (0857) 29-3598 E-mail: [igakusei@tori-ren.jp](mailto:igakusei@tori-ren.jp)

WEBを  
チェック!

